

2025年3月期 第3四半期決算短信〔SFRS〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 オムニ・プラス・システム・リミテッド

上場取引所 東

コード番号 7699 URL <http://www.ops-sys.com>

代表者 (役職名) 最高経営責任者 (Chief Executive Officer) (氏名) Neo Puay Keong

問合せ先責任者(役職名) 株式会社OMNI-PLUS SYSTEM Japan 代表取締役社長 (氏名) 重田 直行 (TEL)03-6841-3922

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

1. 2025年3月期第3四半期連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)(千米ドル、百万円未満四捨五入)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		売上総利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%
2025年3月期 第3四半期	282,260 (44,648)	24.4	39,786 (6,293)	28.5	16,891 (2,672)	44.4	13,658 (2,160)	30.7	13,658 (2,160)	30.7	13,892 (2,197)	36.4
2024年3月期 第3四半期	226,942 (35,898)	△12.9	30,959 (4,897)	△10.6	11,699 (1,851)	△19.7	10,453 (1,653)	△13.2	10,453 (1,653)	△13.2	10,187 (1,611)	△12.0

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	米ドル (円)	米ドル (円)
2025年3月期 第3四半期	0.6486 (102.59)	0.6486 (102.59)
2024年3月期 第3四半期	0.4964 (78.52)	0.4964 (78.52)

(注)「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「四半期利益」を基に算定しています。
株式発行の詳細に関しては、注意事項(3)をご参照下さい。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	%
2025年3月期 第3四半期	231,576 (36,631)	83,972 (13,283)	83,972 (13,283)	36.3
2024年3月期	206,663 (32,690)	75,766 (11,985)	75,766 (11,985)	36.7

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の四半期残高
	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)
2025年3月期 第3四半期	6,986 (1,105)	△9,233 (△1,460)	5,861 (927)	67,028 (10,602)
2024年3月期 第3四半期	21,733 (3,438)	6,344 (1,004)	2,031 (321)	58,971 (9,328)

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	合計
	米ドル (円)	米ドル (円)	米ドル (円)	米ドル (円)	米ドル (円)
2024年3月期	—	0.09 (14.24)	0.15 (23.73)	—	0.24 (37.96)
2025年3月期 (注2)	—	0.09 (14.24)	0.18 (28.47)		
2025年3月期 (予想)				—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 詳細は、2024年6月14日付及び2024年11月14日付「剰余金の配当に関するお知らせ」を参照願います。

() の日本円は、為替レートに基づく換算値であり、JDR受益者への円建て分配金とは異なります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		売上総利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者 に帰属する 当期利益		基本的1株 当たり当期利益	
	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	米ドル (円)	%
2025年3月期 通期	368,600 (58,305)	18.8	45,200 (7,150)	12.4	16,600 (2,626)	16.3	13,800 (2,183)	31.5	13,800 (2,183)	31.5	0.6553 (103.66)	31.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① SFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	21,057,844株	2024年3月期	21,057,844株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	0株	2024年3月期	0株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	21,057,844株	2024年3月期3Q	21,057,844株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等を保証するものではありません。実際の業績は、主要市場の経済情勢の変化や為替の変動など様々な要因により、予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

本書において便宜上記載されている日本円の換算は、別段の記載がある場合を除き、1米ドル=158.18円(2024年12月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値)により計算されています。

○添付資料の目次

1. 定性的情報	1
(1) グループ事業概要	1
(2) グループ経営成績概要	1
(3) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 定量的情報	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約連結純損益及びその他の四半期包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

1. 定性的情報

(1) グループ事業概要

オムニ・プラス・システムグループ（当社グループ）は、エンジニアリング・プラスチックを軸に、顧客のニーズに応じたカタログ販売や汎用品（ジェネリック）の販売を行うエンジニアリング・プラスチックの流通事業と、顧客ニーズにより深く関与して、高耐久・高耐熱、デザイン性を有する樹脂コンパウンド（混合、着色等）を行う開発・製造事業を行っています。

2024年12月末現在、当社グループは、シンガポール国内外の連結子会社25社、ジョイント・オペレーション（共同支配事業）1社、及び持分法適用会社2社で構成されています。

それぞれの事業の内容及び特徴は、次のとおりであります。当社グループの事業はエンジニアリング・プラスチック事業の単一セグメントとなっています。

①流通事業

原則として当社のエンジニアリング・センター機能及び当社グループによる高機能エンジニアリング・プラスチックのコンパウンド（混合、着色等）を介さない製品の流通であり、その多くは汎用品（ジェネリック）の販売として、売上収益の66%を占めています。

②開発・製造事業

当社グループは、最終顧客（ブランドメーカー）が生産する家庭用電気機器、電子機器、OA機器、自動車、通信関連機器、医療機器等の製品において、筐体や内蔵部品等の部品用途のニーズに対応した素材の耐久性、耐熱性等に優れた高機能エンジニアリング・プラスチックの開発を行うほか、最終顧客（ブランドメーカー）との共同研究、さらには、A*STAR（シンガポール科学技術研究庁）及びシンガポールの各種研究機関との共同研究を行っています。

さらに、マレーシア（ジョホール・バル）の製造子会社 Nihon Pigment Sdn. Bhd. において、最終顧客（ブランドメーカー）のニーズに基づく高耐久性、高耐熱性、或いはデザイン性を有した高機能エンジニアリング・プラスチックのコンパウンド（混合、着色等）品の製造・供給を行っています。

(2) グループ経営成績概要

財政状態計算書

資産

資産合計は、前連結会計年度末と比較して24.9百万米ドル増加しました。この増加は、主に売掛金及びその他の債権（その他の売上債権を含む）が2.5百万米ドル、非流動資産が8.6百万米ドル、棚卸資産が9.6百万米ドル及び現金及び現金同等物が4.2百万米ドル増加したことによるものです。

売掛金及びその他の債権の増加は、前連結会計年度末と比較して、主に回収時期の影響に加え、2024年3月期第3四半期の売上収益（71.2百万米ドル）に対し、当第3四半期の売上収益が84.0百万米ドルに増加したこと、さらに前連結会計年度末と比較して前払費用及び顧客からの前受金が1.0百万米ドル増加したことによるものです。

棚卸資産の増加は、主に販売計画の拡大によるものであり、一部は2025年3月期第1四半期に実施した子会社買収の影響によるものです。

現金及び現金同等物の増加は、主に財務活動によるキャッシュ・フローの増加によるものであり、銀行ローン及び借入金からの純収入16.7百万米ドルが寄与しました。銀行ローン及び借入金の増加は、キングジョージアベニューにおける所有権付き不動産の取得資金及び2024年4月1日に実施したIMSグループの買収資金としての借入によるものです。ただし、前連結会計年度末と比較すると、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの支出により一部相殺されました。

負債

負債合計は、前連結会計年度末と比較して16.7百万米ドル増加しました。この増加は主に、有利子負債が24.2百万米ドル、未払税金が0.3百万米ドル、繰延税金負債が0.3百万米ドル及び派生金融負債が0.4百万米ドル増加したことによるものですが、買掛金及びその他の債務が8.6百万米ドル減少したことによ

り一部相殺されました。

買掛金及びその他の債務の減少は、前連結会計年度末と比較して、当第3四半期末時点での仕入れの減少及び支払時期の早期化によるものです。有利子負債の増加は、主に貿易金融の増加及び当第3四半期累計期間に取得した2件の新規タームローンによるものであり、これらは主にキングジョージアベニューの不動産購入資金及びM&Aローンの引き出しに充てられました。

資本

資本合計は、前連結会計年度末の75.7百万米ドルから8.2百万米ドル増加し、84.0百万米ドルとなりました。この増加は、主に当第3四半期累計期間の利益剰余金が13.7百万米ドル増加したことによるものですが、2024年9月の1.9百万米ドル及び2024年12月の3.8百万米ドルの配当金の支払いにより一部相殺されました。

損益計算書

当第3四半期会計期間の売上収益は282.8百万米ドルとなり、前年同期比24.4%の増収となりました。この増収は、主に顧客需要の増加に加え、新たに買収した子会社International Material Supplier Co., Ltd及びその子会社（IMSグループ）の売上収益27.5百万米ドルの寄与によるものです。売上総利益率は14.1%となり、前年同期の13.6%から上昇しました。これは主に、高価格戦略の影響によるものです。

売上総利益は39.8百万米ドルとなり、前年同期の30.9百万米ドルから増加しました。四半期利益は13.7百万米ドルとなり、前年同期の10.4百万米ドルから増加しました。この増加は、主に売上総利益の増加とその他の営業費用の減少によるものですが、販売費、金融費用及び税金費用の増加とによって一部相殺されました。

営業費用（販売費、管理費及びその他の営業費用）は21.6百万米ドルとなり、前年同期の18.8百万米ドルから2.8百万米ドル(14.9%)増加しました。

金融費用は5.0百万米ドルとなり、前年同期の3.2百万米ドルから55.4%増加しました。この増加は、主にシンガポールにおける銀行金利の上昇、2件の新規タームローンの取得、及び銀行の貿易金融枠の利用増加によるものです。

その他の収益は4.5百万米ドルとなり、前年同期の2.5百万米ドルから2.0百万米ドル（80.5%）増加しました。この増加は、主にマレーシアリングgit（MYR）とインドネシアルピア（IDR）の対米ドル上昇による為替差益1.3百万米ドルと陳腐化在庫の取り消し1.6百万米ドル及び定期預金からの利息収入の増加によるものです。

税金費用は3.2百万米ドルとなり、前年同期の1.2百万米ドルから159.4%増加しました。この増加は、主に2024年度にシンガポール政府による税制優遇措置が終了したため、当第3四半期累計期間の利益に対する税制優遇措置が適用されなかったことによるものです。

キャッシュ・フロー計算書

2024年12月31日現在の現金及び現金同等物は、前年同期末の59.0百万米ドルから8.0百万米ドル増加し、67.0百万米ドルとなりました。また、定期預金額は4.2百万米ドルとなっています。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、7.0百万米ドルの収入となりました。運転資本増減考慮前営業利益は23.2百万米ドルとなりましたが、運転資本の減少13.1百万米ドル及び法人所得税の支払額3.1百万米ドルにより一部相殺されました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、9.2百万米ドルの支出となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出が6.0百万米ドル、子会社取得による支出が4.1百万米ドルです。これらは当第3四半期累計期間に受け取った利息の受取額0.9百万米ドルにより一部相殺されました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5.9百万米ドルの収入となりました。これは、主に有利子負債による収入16.7百万米ドルによるものですが、配当金の支払5.7百万米ドル、利息の支払4.4百万米ドル、担保に供されている定期預金の増減額0.5百万米ドル、及びリース負債の支払0.3百万米ドルにより一部相殺されました。

(3) 今後の見通し

当社グループの2025年3月期通期の業績予想は、売上収益を368.6百万米ドル（前年同期比18.8%増）、当期利益を13.8百万米ドル（前年同期比31.5%増）としています。

当社グループは、ASEAN市場への継続的な拡大を2025年3月期の主要戦略と位置付けています。

当第3四半期の売上収益は、第2四半期と比較すると減少しましたが、前年同期比では堅調に推移しており、経営陣は通期の売上収益及び利益水準の向上について、慎重ながらも達成可能であると自信を持っています。この自信は、顧客による新製品の投入や、ASEAN市場における当社グループの市場拡大が引き続き進展していることに強く支えられています。さらに、台湾企業のIMS社を買収したことにより、大中華圏への顧客基盤の拡大も期待されています。

一方で、経営陣は、進行中の世界的な紛争（ウクライナ紛争やイスラエルとハマスの衝突など）や地政学的な緊張が再びサプライチェーンに影響を及ぼし、多くの国や地域で運営コストの上昇を招く可能性があることを認識しています。また、2024年12月にFRBが利下げを発表しましたが、世界的な金利は依然として高水準で推移しており、2025年3月期第4四半期も金利の高止まりが続く見込みです。これにより、資金調達コストの上昇が懸念されます。

当社は、このような市場環境を引き続き慎重に監視しつつ、上場以来初めてとなる今期の業績予想の全項目達成に自信を持っています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、一般に公正妥当と認められた国際会計基準(IFRS)に準拠するシンガポール財務報告基準(SFRS)を採用しています。

3. 定量的情報

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2024年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
資産				
有形固定資産	20,659	3,268	26,757	4,232
使用権資産	539	85	332	52
子会社への投資	-	-	-	-
ジョイント・オペレーションへの投資	-	-	-	-
関連会社株式	2,422	383	1,607	254
無形資産及びのれん	4,264	674	7,228	1,143
その他の売上債権	733	116	599	95
繰延税金資産	457	72	1,139	180
非流動資産	29,074	4,599	37,661	5,957
棚卸資産	38,116	6,029	47,720	7,548
売掛金及びその他の債権	72,461	11,462	74,972	11,859
現金及び現金同等物	67,006	10,599	71,223	11,266
派生金融資産	5	1	-	-
その他の投資	-	-	-	-
流動資産	177,588	28,091	193,915	30,673
資産合計	206,663	32,690	231,576	36,631
資本				
資本金	26,074	4,124	26,074	4,124
為替換算調整勘定	△ 919	△ 145	△ 685	△ 108
利益剰余金	50,611	8,006	58,584	9,267
親会社の所有者に帰属する持分	75,766	11,985	83,972	13,283
非支配持分	△ 0	△ 0	-	-
資本合計	75,766	11,985	83,972	13,283
負債				
その他の債務	204	32	199	31
長期有利子負債	11,711	1,852	22,247	3,519
繰延税金負債	431	68	720	114
非流動負債	12,346	1,953	23,166	3,664
買掛金及びその他の債務	54,627	8,641	46,066	7,287
短期有利子負債	59,517	9,414	73,250	11,587
未払税金	4,339	686	4,618	730
派生金融負債	68	11	504	80
流動負債	118,551	18,752	124,438	19,684
負債合計	130,897	20,705	147,604	23,348
資本及び負債合計	206,663	32,690	231,576	36,631

(2) 要約連結純損益及びその他の四半期包括利益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	226,942	35,898	282,260	44,648
売上原価	△ 195,983	△ 31,001	△ 242,474	△ 38,355
売上総利益	30,959	4,897	39,786	6,293
その他の収益	2,503	396	4,517	715
販売費	△ 4,253	△ 673	△ 7,070	△ 1,118
管理費	△ 8,113	△ 1,283	△ 9,662	△ 1,528
その他の営業費用	△ 6,436	△ 1,018	△ 4,875	△ 771
金融費用	△ 3,219	△ 509	△ 5,004	△ 791
持分法による投資損益	259	41	△ 802	△ 127
税引前四半期利益	11,699	1,851	16,891	2,672
税金費用	△ 1,246	△ 197	△ 3,233	△ 511
四半期利益	10,453	1,653	13,658	2,160
四半期利益の帰属：				
親会社の所有者	10,453	1,653	13,658	2,160
非支配持分	0	0	-	-
四半期利益	10,453	1,653	13,658	2,160
その他の包括利益 純損益に振り替えられる 可能性がある項目：				
在外営業活動体の外貨換算差額	△ 268	△ 42	254	40
投資による外貨換算差額	2	0	△ 20	△ 3
その他の包括利益	△ 266	△ 42	234	37
四半期包括利益	10,187	1,611	13,892	2,197
四半期包括利益の帰属：				
親会社の所有者	10,187	1,611	13,892	2,197
非支配持分	0	0	-	-
四半期包括利益	10,187	1,611	13,892	2,197

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：千米ドル()百万円)

グループ	会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	資本金	為替換算 調整勘定	利益剰余金			
2023年4月1日	26,074	△ 511	45,174	70,736	-	70,736
残高	(4,124)	(△ 81)	(7,146)	(11,189)	(-)	(11,189)
四半期包括利益合計						
四半期利益	-	-	10,453	10,453	0	10,453
	(-)	(-)	(1,653)	(1,653)	(0)	(1,653)
その他の包括利益						
外貨換算差額	-	△ 266	-	△ 266	△ 0	△ 266
	(-)	(△ 42)	(-)	(△ 42)	(△ 0)	(△ 42)
その他の包括利益 合計	-	△ 266	-	△ 266	△ 0	△ 266
	(-)	(△ 42)	(-)	(△ 42)	(△ 0)	(△ 42)
四半期包括利益合計	-	△ 266	10,453	10,187	0	10,187
	(-)	(△ 42)	(1,653)	(1,611)	(0)	(1,611)
資本に直接認識される 所有者との取引額 所有者による拠出及び 所有者への分配						
配当金	-	-	△ 5,054	△ 5,054	-	△ 5,054
	(-)	(-)	(△ 799)	(△ 799)	(-)	(△ 799)
所有者による拠出及び 分配額合計	-	-	△ 5,054	△ 5,054	-	△ 5,054
	(-)	(-)	(△ 799)	(△ 799)	(-)	(△ 799)
所有持分の変動						
非支配持分を持つ 子会社の取得	-	-	-	-	0	0
	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0)
所有持分の変動合計	-	-	-	-	0	0
	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0)
所有者との取引額合計	-	-	△ 5,054	△ 5,054	0	△ 5,054
	(-)	(-)	(△ 799)	(△ 799)	(0)	(△ 799)
2023年12月31日	26,074	△ 777	50,573	75,869	0	75,869
残高	(4,124)	(△ 123)	(8,000)	(12,001)	(0)	(12,001)

(単位：千米ドル()百万円)

会社の所有者に帰属する持分

グループ	資本金	為替換算 調整勘定	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
2024年4月1日	26,074	△ 919	50,611	75,766	△ 0	75,766
残高	(4,124)	(△ 145)	(8,006)	(11,985)	(△ 0)	(11,985)
四半期包括利益合計						
四半期利益	-	-	13,658	13,658	-	13,658
	(-)	(-)	(2,160)	(2,160)	(-)	(2,160)
その他の包括利益						
外貨換算差額	-	234	-	234	-	234
	(-)	(37)	(-)	(37)	(-)	(37)
その他の 包括利益合計	-	234	-	234	-	234
	(-)	(37)	(-)	(37)	(-)	(37)
四半期包括利益合計	-	234	13,658	13,892	-	13,892
	(-)	(37)	(2,160)	(2,197)	(-)	(2,197)
資本に直接認識される 所有者との取引額						
配当金	-	-	△ 5,686	△ 5,686	-	△ 5,686
	(-)	(-)	(△ 899)	(△ 899)	(-)	(△ 899)
所有者による拠出及び 分配額合計	-	-	△ 5,686	△ 5,686	-	△ 5,686
	(-)	(-)	(△ 899)	(△ 899)	(-)	(△ 899)
子会社における 所有持分の変動						
支配権の変更を伴わない 非支配持分の取得	-	-	△ 0	△ 0	0	△ 0
	(-)	(-)	(△ 0)	(△ 0)	(0)	(△ 0)
所有持分の変動合計	-	-	△ 0	△ 0	0	△ 0
	(-)	(-)	(△ 0)	(△ 0)	(0)	(△ 0)
所有者との取引額合計	-	-	△ 5,686	△ 5,686	0	△ 5,686
	(-)	(-)	(△ 899)	(△ 899)	(0)	(△ 899)
2024年12月31日	26,074	△ 685	58,584	83,972	-	83,972
残高	(4,124)	(△ 108)	(9,267)	(13,283)	(-)	(13,283)

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
税引前利益	11,699	1,851	16,891	2,672
調整:				
棚卸資産陳腐化引当金	1,313	208	△ 1,634	△ 258
無形資産償却費	362	57	658	104
のれんの減損損失	-	-	993	157
棚卸資産の除却	△ 9	△ 1	7	1
有形固定資産の除却	-	-	3	0
有形固定資産償却費	850	134	1,040	164
使用権資産償却費	291	46	344	54
貸倒引当金戻入額 (純額)	563	89	△ 11	△ 2
有形固定資産売却益	△ 1,387	△ 219	-	-
関連会社の損益	△ 259	△ 41	802	127
受取利息	△ 125	△ 20	△ 874	△ 138
支払利息	3,219	509	5,004	791
未実現為替差損 (差益)	△ 74	△ 12	30	5
運転資本の増減考慮前営業利益	16,444	2,601	23,243	3,677
運転資本の変動:				
-棚卸資産	15,525	2,456	△ 5,894	△ 932
-売掛金及びその他の債権	△ 2,912	△ 461	6,198	980
-買掛金及びその他の債務	△ 4,918	△ 778	△ 13,456	△ 2,128
営業活動によるキャッシュ・フロー 小計	24,139	3,818	10,091	1,596
法人所得税の支払額	△ 2,405	△ 380	△ 3,105	△ 491
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,733	3,438	6,986	1,105
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利息の受取額	125	20	874	138
有形固定資産の取得による支出	△ 1,551	△ 245	△ 6,033	△ 954
有形固定資産の売却による収入	6,798	1,075	-	-
金融派生商品の処分による収入	-	-	83	13
関連会社への投資の減少	△ 600	△ 95	-	-
関連会社に対する債権の減少	1,199	190	△ 32	△ 5
非支配持分の変動	-	-	△ 0	△ 0
子会社取得 (取得現金控除後)	374	59	△ 4,125	△ 653
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,344	1,004	△ 9,233	△ 1,460
財務活動によるキャッシュ・フロー				
担保に供されている定期預金の増減額	147	23	△ 485	△ 77
有利子負債による収入	122,743	19,415	173,755	27,485
償還可能優先株式の発行による収入	-	-	6,681	1,057
有利子負債の返済	△ 112,333	△ 17,769	△ 163,704	△ 25,895
リース負債の返済	△ 320	△ 51	△ 312	△ 49
配当金の支払額	△ 5,054	△ 799	△ 5,686	△ 899
利息の支払額	△ 3,153	△ 499	△ 4,390	△ 694
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,031	321	5,861	927

現金及び現金同等物の増減額	30,108	4,763	3,614	572
現金及び現金同等物の期首残高	29,105	4,604	63,295	10,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 242	△ 38	118	19
現金及び現金同等物の中間残高	58,971	9,328	67,028	10,602

財務諸表における現金及び現金同等物の内訳

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
財政状態計算書における 現金及び現金同等物	62,689	9,916	71,223	11,266
定期預金(担保付)	△ 3,718	△ 588	△ 4,195	△ 664
キャッシュ・フロー計算書における 現金及び現金同等物	58,971	9,328	67,028	10,602

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

2. 会計方針の変更
中間財務諸表の作成において採用された会計方針は、当社グループの2024年3月31日に終了した当社グループの年次財務諸表に採用され、記載されている会計方針と一致しています。

2024年4月1日に開始した当事業年度から適用されるFRS、及びFRSの改正及び解釈指針の適用は、当社グループの中間連結財務諸表に重要な影響を与えるものではありません。

3. セグメント情報
当社グループは「エンジニアリング・プラスチック事業」のみの単一セグメントであり、同事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

4. 収益情報
製品区分ごとの収益

	前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)		当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
ジェネリック (汎用) プラスチック	137,538	21,756	187,021	29,583
スペシャリティ (特殊) プラスチック	89,404	14,142	95,240	15,065
合計	226,942	35,898	282,260	44,648